

未来

郵政産業ユニオン
PIWU

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4360
23年6月27日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

大雨などの自然災害時には 的確な業務指示を求めます

おはようございます。

今年梅雨入りが早く、雨の日が多くなる事が心配されましたが、これまでのところ、曇りや晴れの日が多く感じます。只今週からは梅雨らしい天気が続く予報になっています。

梅雨末期には大雨が降ることが多く、長崎でも大雨を幾度となく経験しています。

災害時での、配達打ち切りでの帰局指示などの判断は、一歩間違えれば大事故に直結します。過去の大雨時の業務運行を振り返り、問題点を考えます。

令和2年7月

九州各地に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」。長崎では大村

市の被害が最も深刻で、丸二日間大村郵便局から郵便物が届かない事態となりました。

7月6日から7月9日までに計4度帰局指示が出ましたが、災害時のマニュアル等は具体的には示されませんでした。

また、帰局指示が出た時の郵便物の取り扱いについても社員間でバラバラでした。支部は大雨時に帰局指示が出た時の郵便物の取扱いについて「未来」で以下の点を指摘しました。

- ①アマゾンゆうパケットを含む追跡郵便物はどうするのか？
- ②会社などの配達はどうするのか？
- ③切手貼付郵便物はどうするのか？（7月7日の滞留郵便物の中に菓が入った郵便物があり、受取人から連絡があり夕方便で配達した）
- ④祭事（パチンコ店の開店）の郵便物はどうするのか？

令和3年8月

8月11日から1週間近く降り続いた雨は集配

営業部で滞留や業務停止など大きな影響を及ぼしました。（8月14日は業務停止）

この間、業務停止など社員の命を最優先に考えた業務運行の日もありましたが、的確な業務指示が出されない日もありました。特に8月13日は

帰局指示がありました。豪雨の為なのか、ゆうパックなどの混合区を応援するための要員確保の為に、はつきりしませんでした。



令和4年7月

7月18日に長崎県対馬市で線状降水帯が発生し、翌19日の午前にかけて九州北部地方にも線状降水帯が発生しました。19日は3連休明けで物増ということもあり、天候が心配しました。幸い大雨は免れたため、通常通りの業務運行となりました。

この時を含め、昨年は帰局指示が出されるような大雨が降ることはありませんでした。

「未来」では、帰局指示を出す場合の郵便物の取扱いについて、具体的にどうすればよいのか明確な指示を求めました。

対応例

- ①：書留、ゆうパック、ゆうパケットなど追跡郵便物だけ配達して帰局
- ②：追跡系郵便物と切手貼付郵便物を配達して帰局
- ③：②に加え会社関係と祭事（パチンコ開店など）の郵便物も配達して帰局
- ④：配達をその場で打ち切り、すぐに帰局



近年は、大雨に限らず、台風や大雪など自然災害の発生が多発しています。幸い、長中局では業務中の事故などはありませんが天候は急変します。

もし、配達中に最悪のケース（死亡）になった場合は誰が責任をとるのでしょうか？ミーンティング時に「安全が最優先」との言葉が発せられていますがその言葉だけでは社員は判断に迷います。メール等で帰局命令が出た時には「すべての郵便物より命を優先して配達を止めて帰局するように。後の対応は管理者が責任をとるので」このくらいの指示が必要ではないでしょうか？

どうなる夏季繁忙

日本郵便は16日、下請け企業との集配委託契約に関する見直し協議の結果を公表し、平均5%程度、委託料を値上げしたと発表しました。

ただこの値上げは下請け企業と契約する個人ドライバーに、どのくらい反映されているか明らかになっていません。

長中局では夏季繁忙前に個人ドライバーが辞めるとの話もあります。下請け企業が撤退することのないような委託料の値上げを強く要請します。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員が正社員化を。ゆげ、均等待遇、なげん差別。ユニオンは労基法裁判に勝利する。

